

第26期中間 事業のご報告

# IR-REPORT

2010年3月1日～2010年8月31日



# TOP INTERVIEW

## トップインタビュー

代表取締役社長 野口 実



### Q1 第26期上期の業績についてお聞かせ下さい。

**A** 2011年2月期の上期は、急速な円高基調などに起因した先行き不透明感が個人消費にも影を落とすなど、消費環境は依然厳しいものでありました。このような状況の中、ABCマートグループは中長期的な成長への足場を固めるチャンスと捉え、積極的な新店や改装などの店舗戦略、価格や付加価値を提案する商品戦略を進めました。国内の新店につきましては、上期で47店舗の新規新店を行ったほか、既存店におきましてもさらなる売上拡大を見込み22店舗の改装（うち9店舗増床）を行いました。なかでも、レディース専門店「NUOVO」の積極新店や、地方郊外ならびに都市部郊外のロードサイド店舗の積極新店を強化し、これまでABCマートにご来店いただけなかった新規顧客層の獲得にも注力いたしました。また、子会社が展開する韓国でも上期で8店舗の新規新店を行いました。販売政策におきましても、全体としては「ファストファッション」ブームに合わせた低価格戦略の継続を軸に新規顧客層の獲得に取り組んだほか、ファッショントレンドや機能性といった付加価値の提案を強化した商品などの販促に注力してまいりました。その結果、上期の連結売上高は前期比11.8%増の610億86百万円、営業利益は7.7%増の129億41百万円、経常利益は0.3%減の124億83百万円、純利益は8.0%増の75億73百万円となりました。

### Q2 下期の販売戦略についてもお聞かせ下さい。

**A** 昨年秋以降、「ファストファッション」ブームに合わせた低価格路線を強化したことにより、「低価格」のイメージは全国的に広く浸透し、結果顧客層の拡大に寄与いたしました。そこで、下期以降は足元の「円高基調」を「価格還元」というかたちではなく、素材や機能といった“品質の向上”に活用することで、もう1段上の価格帯での「割安感」や「お買い得感」を訴求し、さらに幅広い顧客層に対しての購買意欲喚起につなげてまいります。また、販売政策といたしましては、地域に応じたMDの差別化を図ってまいります。上期は、都心部も地方郊外も一律に低価格帯に偏った打ち出しになりがちでしたが、地域特性や店舗形態の特性に応じた商品構成の見直しを行い、低価格商品と中価格帯商品、場合によっては高価格帯商品を使い分けた店舗ごとのMDの差別化を進めてまいります。なお、全国的に販売好調なレディースにつきましては、品質向上のほか、商品バリエーションのさらなる拡大をすすめることによって、地域や店舗形態に応じたMDの差別化を進めてまいります。このように、カテゴリごとの商品戦略や販売政策に注力する一方で、これらの取り組みを分かりやすく消費者に伝えるためのプロモーション活動も強化いたします。テレビCMでは、トレンドを意識したメンズレザージャーズや、豊富なバリエーションのトレンド提案やリーズナブルな価格訴求を意識したレディースブーツに加え、健康志向を背景としたスニーカーなど、これまで以上に商品特性、価格帯、トレンドとメリハリの効いたプロモーションを行い、幅広い年代の顧客層に訴求してまいります。

### Q3 海外事業についてお聞かせ下さい。

**A** 海外子会社であるABC-MART KOREAの業績につきましては、VANSやNIKEといったファッションとしてのスニーカーを中心にスポーツシューズのカテゴリーが好調に推移している一方で、レディースやレザージャズといった販売強化を進めているカテゴリーも順調に伸びております。また韓国店舗数につきましては、8店舗の新規新店により、6月末の店舗数は71店舗となりました。その結果、現地通貨ベースでの上期売上高は前期比40.6%増の874億WON、営業利益は41.5%増の132億WON、また円ベースでも上期売上高は前期比33.8%増の62億53百万円、営業利益は34.7%増の9億46百万円と、韓国事業におきましても大幅な増収となりました。引き続き、韓国におきましても、新規新店および既存店舗の改装などを行いながら、ファッションとしてスニーカーを提案し続けるとともに、幅広い年齢層のお客様へのトレンド提案を戦略的に進めるために、レザージャズやレディースといったカテゴリーの取り組みを強化し、日本同様に顧客層の拡大を進めてまいります。一方、海外2カ国目として新たに事業展開している台湾につきましては、上期の売上高が約8億円となりました。台湾では、若者を中心に日本のファッションへの関心が非常に高く、ABC-MARTも高い支持を受けております。これまでに新店をした3店舗はいずれも好調に推移しており、今後も台北、高雄、台中といった都市部での積極新店を進めてまいります。



▲台湾第二号店

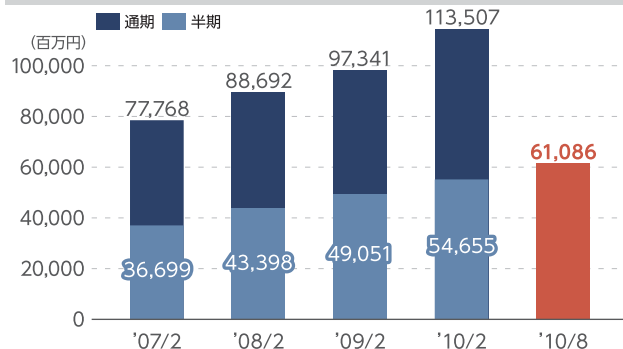
### Q4 株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** ABCマートグループは、2014年2月期において国内店舗720店舗、連結売上高1,500億円という中期経営計画の達成に向け、着実に成長の一途を遂げております。そして、長期的には、国内事業のシェア拡大はもちろんのこと、現在海外事業として展開している韓国、台湾に加え、更なる新規海外マーケット参入も見据えたグローバルな成長戦略を進めてまいります。これまで以上に株主、投資家の皆様のご期待にお応えできるよう全社一丸となつてまい進してまいりたいと考えておりますので、今後とも株主、投資家の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

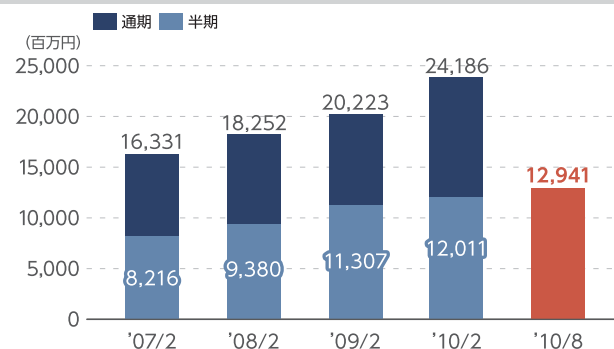
# 連結業績ハイライト

## Connection Achievements Highlight

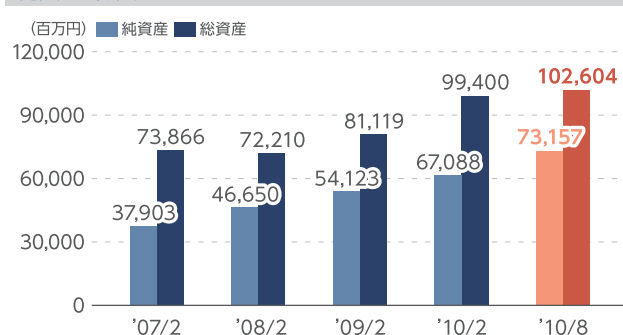
### 売上高



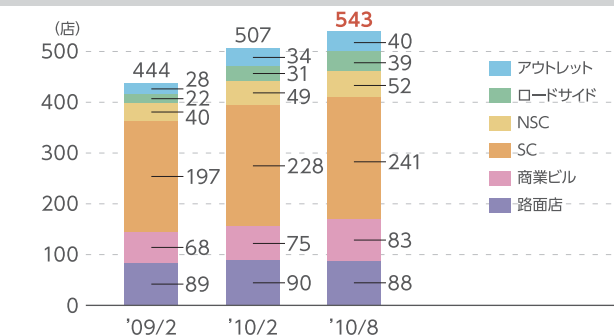
### 営業利益



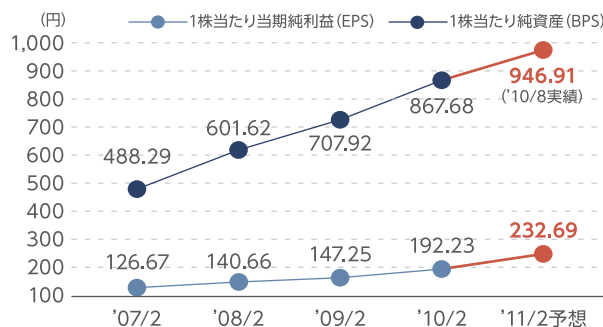
### 純資産・総資産



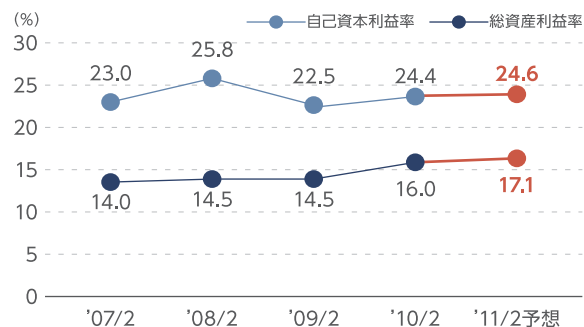
### 国内店舗数の推移 (業態別)



### 1株当たり当期純利益 (EPS)・1株当たり純資産 (BPS)



### 自己資本利益率 (ROE)・総資産利益率 (ROA)



# 連結財務諸表

## Consolidated financial statements

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)	当第2四半期末 2010年8月31日 現在	前第2四半期末 2009年8月31日 現在	2010年2月期末 (要約)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	53,376	38,589	48,131
現金及び預金	27,581	15,962	24,604
受取手形及び売掛金	2,283	2,015	1,971
商品	20,096	17,344	17,959
繰延税金資産	916	726	938
その他	2,499	2,540	2,659
貸倒引当金	△1	△0	△0
<b>固定資産</b>	49,228	51,213	51,268
有形固定資産	26,365	30,280	28,771
建物及び構築物	8,199	7,978	8,029
土地	16,802	17,228	19,443
その他	1,362	5,073	1,298
無形固定資産	917	742	801
投資その他の資産	21,946	20,190	21,695
敷金保証金	13,579	11,886	12,964
関係会社株式	6,914	7,011	7,409
その他	1,453	1,291	1,321
貸倒引当金	—	—	—
<b>資産合計</b>	<b>102,604</b>	<b>89,802</b>	<b>99,400</b>

(単位:百万円)	当第2四半期末 2010年8月31日 現在	前第2四半期末 2009年8月31日 現在	2010年2月期末 (要約)
<b>負債及び純資産の部</b>			
<b>流動負債</b>	23,978	24,206	26,869
支払手形及び買掛金	6,256	7,192	7,714
短期借入金	8,119	8,677	8,311
未払法人税等	5,319	5,199	6,447
賞与引当金	480	484	469
その他	3,803	2,652	3,926
<b>固定負債</b>	5,468	5,397	5,442
<b>負債合計</b>	<b>29,447</b>	<b>29,604</b>	<b>32,311</b>
<b>株主資本</b>	71,941	59,544	65,798
資本金	3,482	3,482	3,482
資本剰余金	7,488	7,488	7,488
利益剰余金	60,969	70,891	77,146
自己株式	△0	△22,318	△22,319
<b>評価・換算差額等</b>	△644	△500	△467
<b>少数株主持分</b>	1,860	1,154	1,757
<b>純資産合計</b>	<b>73,157</b>	<b>60,198</b>	<b>67,088</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>102,604</b>	<b>89,802</b>	<b>99,400</b>

### ポイント 解説

#### 連結貸借対照表関係

- \*資産合計が前期末から32億4千万円増加しております。
- \*この主な増加要因は、現金及び預金の増加29億77百万円、商品の増加21億36百万円、有形固定資産の取得または不動産の売却による減少27億45百万円等によるものであります。

#### 連結キャッシュ・フロー関係

- \*当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ29億85百万円増加し、275億1百万円となりました。
- \*この主な増減要因は、営業活動が、税金等調整前当期純利益が130億21百万円、たな卸資産の増加で23億10百万円、法人税等の支払いで62億19百万円となりました。投資活動が、有形固定資産の売却による収入で35億86百万円、新規出店や改装に関わる有形固定資産の取得で17億62百万円の支出、敷金保証金の差入で12億3百万円の支出となっております。財務活動が、配当金の支払いで14億30百万円の支出となっております。

(百万円未満は切り捨てて表示しております)

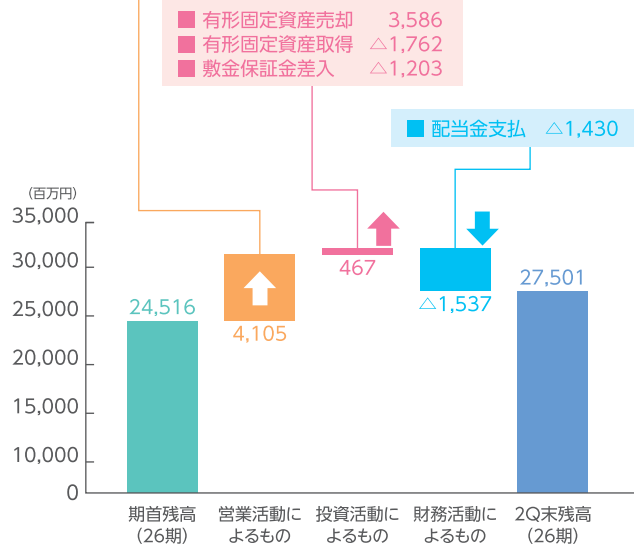
## 連結損益計算書

	当第2四半期末 2010年8月31日 現在	前第2四半期末 2009年8月31日 現在	2010年2月期末 (要約)
(単位:百万円)			
売上高	61,086	54,655	113,507
売上原価	25,422	23,425	49,030
売上総利益	35,663	31,229	64,476
販売費及び一般管理費	22,722	19,218	40,290
広告宣伝費	2,895	2,125	4,870
人件費	7,981	6,974	14,071
地代家賃	5,737	5,053	10,465
減価償却費	1,006	894	1,928
その他	5,100	4,171	8,954
営業利益	12,941	12,011	24,186
営業外収益	413	688	1,793
営業外費用	871	178	411
経常利益	12,483	12,521	25,568
特別利益	934	—	350
特別損失	396	102	357
税金等調整前当期純利益	13,021	12,419	25,561
法人税、住民税及び事業税	5,212	5,101	10,619
法人税等調整額	△40	△0	△210
少数株主利益	276	303	679
当期純利益	7,573	7,014	14,473

## 連結キャッシュ・フロー推移グラフ

### 主な増減要因

税金等調整前当期純利益	13,021
たな卸資産増加	△2,310
法人税等支払	△6,219



※上記のキャッシュ・フロー区分のほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額50百万円がありますが、グラフの記載は省略しております。

## ポイント解説

### 連結損益計算書関係

- \*当第2四半期までの連結売上総利益率は、前期より1.3ポイント改善し、58.4%となりました。ビジネスシューズやレザーカジュアルシューズ、レディースなどの販売好調により、国内の自社商品比率が46.5%と高めだったことや、円高による原価の低減によるものです。
- \*連結販管費は、前期比2.0ポイント増の37.2%となりました。広告宣伝費は、新規顧客獲得も含め大幅な客数増加を狙い、積極的に新聞広告やテレビCM等の販促活動を行ったことにより、売上高構成比は前期比0.8ポイント増の4.7%となりました。人件費は、予想を上回る新規出店により、前期比0.4ポイント増の13.2%、地代家賃も好条件での出店要請が増えるなか、新規出店が予想を上回ったことに

より前期比0.2ポイント増の9.4%となりました。

- \*当社の個別業績については、売上高は前期比7.7%増の540億22百万円、営業利益は前期比2.4%増の114億86百万円、経常利益は4.2%増の119億66百万円、当期純利益は前期比18.5%増の77億3百万円となりました。
- \*韓国子会社ABC-MART KOREAの業績については、WONベースでの売上高は前期比40.6%増の874億57百万WON、営業利益も前期比41.5%増の132億36百万WONと大幅な増収増益となりました。円ベースでも、売上高は前期比33.8%増の62億53百万円、営業利益は34.7%増の9億46百万円と増収増益となりました。

# 株式の状況

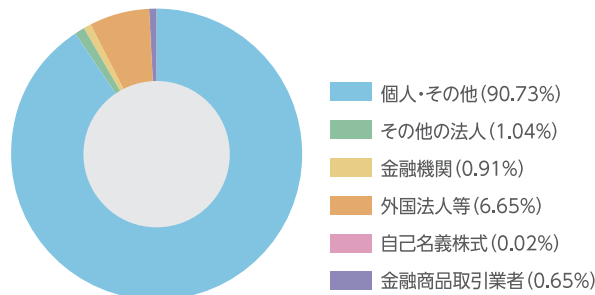
Situation of the Stocks (2010年8月31日現在)

発行可能株式総数	334,500,000株
発行済株式総数	75,294,429株
自己株式数	72株
単元株式数	100株
株主数	4,604名

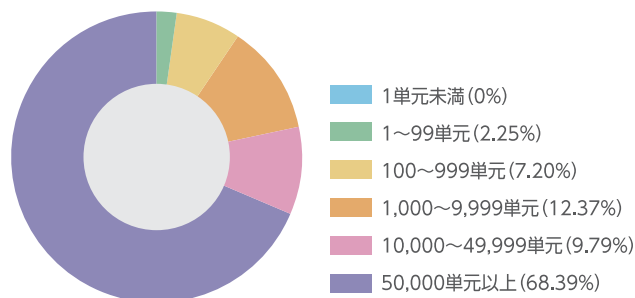
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三木 正浩	24,480,000	32.51
合同会社イーエム・プランニング	14,428,400	19.16
三木 美智子	12,584,000	16.71
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,387,200	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,870,200	2.48
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,857,267	2.46
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシーリ フィデリティ ファンズ	1,256,800	1.66
ハイアット	699,400	0.92
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	639,400	0.84
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	522,995	0.69

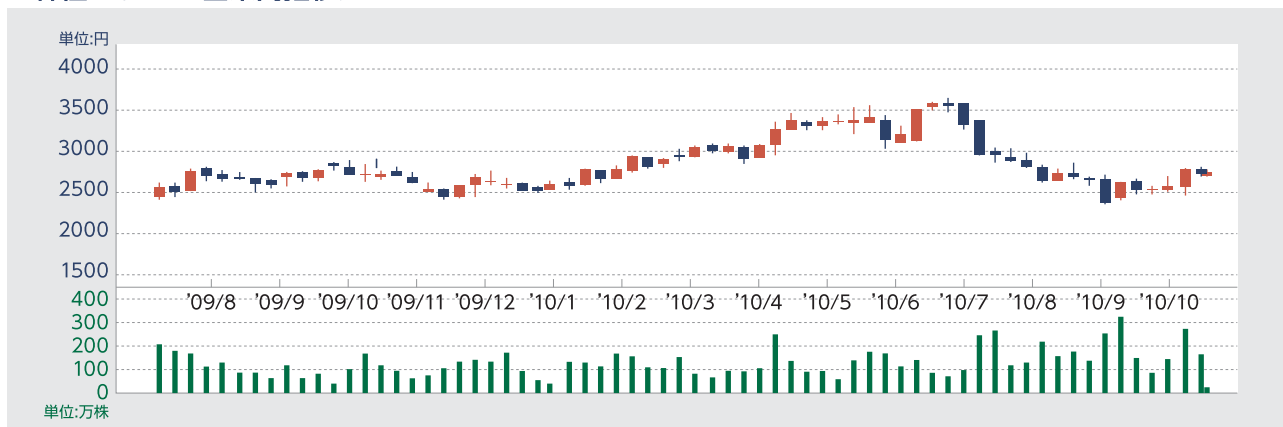
## 所有者別株式分布状況



## 所有株式数別株式分布状況



## 株価チャート・出来高推移グラフ





# 会社の概要・お知らせ

Company Profile / Information (2010年8月31日現在)

## 会社の概要

社名	株式会社エービーシー・マート
本店所在地	東京都渋谷区神南一丁目11番5号(登記上の住所)
設立	1985年6月6日
資本金	34億8,293万円
従業員数	4,551名(うちアルバイト2,383名)
事業内容	靴・衣料・雑貨などの小売 靴の商品企画および輸入販売 各種ブランドのライセンス事業
事業所	[本社] 東京都渋谷区 [店舗] 北海道21、東北30、関東245、中部66、関西77、 中国・四国33、九州・沖縄71 計543店舗
取引銀行	みずほ銀行/三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行/りそな銀行
主な関連会社	ABC-MART KOREA, INC.、ABC-MART TAIWAN, INC.
URL	<a href="http://www.abc-mart.com">http://www.abc-mart.com</a>

## 役員

代表取締役社長	野口 実
専務取締役	中尾 徹
常務取締役	吉田 幸枝
取締役	金城 正宏
取締役	勝沼 清
取締役	小島 穰
取締役	菊池 孝
監査役(常勤)	秋元 英夫
監査役(常勤)	林 豊
監査役	上原 敬三

## お知らせ

### 株主優待

毎年2月末日現在の株主および  
実質株主に対し、優待券を年1回、  
以下の基準により贈呈いたします。



贈呈基準/ 所有株式数100株(1単元)以上300株未満保有の株主様に対し、  
3,000円(1,000円割引券3枚)、300株以上保有の株主様に対し、  
5,000円(1,000円割引券5枚)の当社優待券を贈呈いたします。

利用方法/ お買物金額(税込)5,000円毎に1枚ご使用いただけます。1回のお  
買物につき、最大5枚まで使用可。ただし、他の割引券等との併用は  
できません。

有効期限/ 翌年2月末日まで有効

取扱店舗/ 「ABC-MART」、「GALLOP」、「INUOVO」、「コルソナポレオーネ」、  
「HAWKINS」、「VANS」各アウトレットおよび「WORLD SPORTS  
PLAZA」の国内における全店舗

## ABC-MARTのネット通販

アクセスは  
[www.abc-mart.net](http://www.abc-mart.net)へ!  
(24時間OPEN)



## IRサイトのご案内

投資家の皆様にご正確な情報を迅速に  
ご提供し、当社の現況や将来の  
ビジョンをご理解いただくために、  
IRサイトを開設しています。  
連結業績や決算資料のみならず、  
当社の成長戦略についても  
ご覧いただけます。

URL:<http://www.abc-mart.com>  
の「▶企業・IR」から



## 株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
中間配当金受領株主 確定日	8月31日
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL / 0120-232-711 (通話料無料) URL / <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部(証券コード 2670)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL / <a href="http://www.abc-mart.com">http://www.abc-mart.com</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましても、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株主に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社エービーシー・マート

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティ ウエスト19階

TEL:03-3476-5452 / FAX:03-3476-5462

<http://www.abc-mart.com>